

## 会 議 録

1 会議名	平成19年度 第5回河内自治会議
2 開催日時	平成19年11月29日(木) 午後2時30分～午後4時40分
3 開催場所	河内地域自治センター 第1会議室
4 出席者	<p><b>【委員】</b>            中村祐司(会長), 須藤貢(副会長), 上山茂, 大田原加久司,            菊地久美子, 小嶋由美子, 須藤誠一, 五月女勝正, 五月女純, 對馬博幸,            手塚米子, 永見幹夫, 西岡隆義, 日向トモエ, 松谷悦広, 森本喜美子</p> <p><b>【事務局】</b>            河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域経営課主幹,            地域づくり課長, ほか7名</p>
5 公開・非公開	公 開
6 傍聴者数	<b>【傍聴者】</b> 2名
7 会議経過	(1) 開 会 (2) 協議事項 ・地域のまちづくりについて (3) その他 (4) 閉 会

### 1 開 会

事務局	<p>ただいまから第5回河内自治会議を開会させていただきます。</p> <p>本日は、4人が欠席のため16人が出席となっており、委員数の過半数に達していますことから、会議が成立することを報告します。</p> <p>はじめに会長からごあいさつをいただき、その後の進行を会長にお願いします。</p>
会 長	<p>みなさん、こんにちは。今日はこの冬一番の寒さということですが、こういう中でも皆さん時間をやりくりして第5回自治会議に参加していただきまして、ありがとうございます。</p> <p>さて、季節は寒くなりましたが、議論は非常に熱い部分に入ってきます。答申書を提出して一段落しましたが、河内自治会議では今後どのように活動していけばよいか、地域の問題をどのように抽出して、その解決策を提示していけるか、今日は、我々の行動の方向性を皆さんで共通認識していきたいと思っておりますので、皆さんの忌憚のないご意見をお願いします。</p>

## 2 協議事項

### 地域のまちづくりについて

会 長	<p>それでは、今回から地域のまちづくりについて皆さんと議論をしていきたいと思ひます。今日は、まとめるということではなく、皆さんから様々なご意見をいただき、皆さん同士の共通認識を持って、次回以降の議論に繋げていきたいと思ひています。</p> <p>先日、委員の皆さんにお願いして地域の課題を提出いただきましたが、どのようなものがあつたのか、その概要について事務局に説明していただき、その後で、書ききれない部分などをお一人ずつ簡単にお話いただきたいと思ひます。</p> <p>それでは、事務局から概要を説明してください。</p>
事務局	(資料1により提出された意見の分類を説明)
会 長	<p>私は、皆さんに書いていただいた意見を事前に見せていただきましたが、いろいろな活動の経験から知恵を出していただいたようで、とても感銘を受けました。なかなか紙1～2枚には書ききれない想ひもあつたかと思ひますので、お一人2～3分程度でお話いただきたいと思ひます。</p>
委 員	<p>私は、安全なまちづくりの一環として消防団員の確保が重要であると考えていますので、団員を自治会の役員みたいな役目にすれば消防団員の自覚が沸くのではないかと思ひています。</p> <p>旧上河内は50人に一人の消防団員がいますが、旧宇都宮市の旧市内は3万人に15人しかいません。昭和に合併した新市内では河内地区と同じくらいの130人に一人いて、そういう地域性を大事にしなければいけないと思ひます。昔は河内町にも300人を越す団員がいましたが、今は270人しかいません。やはり地域の安全を守るために、こういう若者を確保していくことが必要と思ひます。</p> <p>昔は青年団などの青年の集まりがありました。最近では趣味の団体はありますが、これから世の中を良くしていこうという団体がないと思ひます。消防団は、地域を大事にするという気持ちをもって、同じ地域に住んでいる多種多様な人が集まって、みんなで災害を未然に防ごう、災害があつたときには最小限に防ごうという活動をしています。いま日本全国でも100万人を割ってしまった消防団員ですが、一人でも多くの人に入ってもらいたいと思ひて、提案しました。</p> <p>それ以外にもありますが、以上で私の話を終わります。</p>
会 長	ありがとうございました。それでは、次の委員お願いいたします。
委 員	<p>先日、商工会で白髪神社に梵天を奉納しました。白沢宿は昔のイメージがとても残つていて大変感動したのですが、少し何かが物足りない感じもしました。やはり、いくらかでもいいから補助制度を作つて、河内にもこのような宿場がある</p>

	<p>というイメージをもっと大きくできればよいという感じがしました。そのためにこのような要望的なものも出してみたところですよ。</p> <p>それから、平地林についてですが、皆さんが散歩されるときにも道路の両際にゴミが不法に捨てられている状況が見られると思います。私も毎日歩いていますが、道路からすぐのところには見えなくて、奥のほうにたくさん入っています。地主さんの目もなかなか通らないので、拾ってくださいと言っても、なかなかできないという状況にあります。平地林の維持に対して何か還元できれば、地主さんたちも維持していけるのではないかと考えていますので、このような問題について提言しました。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。次の委員どうぞ。</p>
委 員	<p>私は、消費者友の会で環境問題を取上げ、廃食用油からせっけんを作る活動をしています。私たちの会は、河内地区の水をきれいにしたいということで、先日も自治センター主催のせっけん作り講座をしまして、皆さんに環境の話をしました。私たちは、学校給食の廃油を基にせっけんを作っていますが、この普及がなかなか難しいのです。以前は、町役場に購入していただいていたのですが、これからは学校にも普及させたいと思っていますので、これも自治センターで取り組んでいただけるとありがたいと思います。また、もったいない運動とカリサイクル運動に宇都宮市は取り組んでいます、グリーン購入法ということもありますので、ぜひご理解いただきたいという提案をしました。</p> <p>それから、河内地区にも産地直売所がありますが、私が他の地区の直売所を回っていると、中には1億とか2億とかすごい収入があるところがあります。塩原とかろまんちっく村とか、他のところを見ていると、河内地区は、お米もおいしい野菜もいろいろあるのに直売所の活気がないのでとても残念に思っていました。そのような人が集まる場所があると良いと思い、提案しました。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。それでは、次の方よろしくお願ひします。</p>
委 員	<p>私は、河内総合運動公園裏の利用について、思ったことを書いてみました。私は、夕方、運動公園の周りを散歩しています。公園の裏には、金網が張られて入れないようにしているのですが、その部分の計画はどうなっているのでしょうか。もし計画がなければ、今は草が伸び放題となっているので、もう少し活用して、皆さんに自由に開放していただければよいのではないのでしょうか。高齢者や子供たちのスポーツが盛んですが、場所が取れないという話も聞きますので、自由に開放してもらえればスポーツができる場所になるのではないのでしょうか。</p> <p>もう一つ、私は防火クラブの活動もしていて、桜づつみの清掃を年に2回しています。中央の駐車場には立派なトイレがありますが、北側の駐車場にはトイレが一ヶ所もないのです。中央にあるから良いのだろうという考えなのだと思います。</p>

	<p>すが、駐車場はトイレの利用に来る人もいます。しかし、トイレがないために男性が金網の周りで用を足している姿を見かけますので、小さなトイレや簡易トイレでも良いので検討してほしいと思いました。</p>
会 長	<p>それぞれの委員から、消防団と自治会との結びつきや平地林の保存、せっけんやもったいない運動、直売所、総合運動公園のスペースの利用や簡易トイレなどの話が出ましたが、皆さんのお話を聞いていると河内地区の生活者として、また活動の中から非常に具体的な意見がありました。</p> <p>それでは、次は連名の提案のようですが、よろしくをお願いします。</p>
委 員	<p>私は、農業者の団体から出てきたのですが、話しをしているうちにある委員と非常に意見が合いまして、ぜひ一緒に話しましょうと喫茶店で話したり、お互いの家を訪問しあったりして、この内容をまとめていきました。</p> <p>昔の農業は自分で作って出荷してお終いでしたが、現在はそうでなく、食育とか安全の問題、地産地消とかの地域住民との関わりがいろいろでできました。そういう方向の中で農業は地域と関わっていくのが当然であり、関わらなければやっていけない状況になっています。消費者や地域住民に地域の農業を理解していただくために、こうした建物を利用させてもらい、交流したり、勉強会を開いたりするなど、いろいろなことを通した地域の広がりが必要だと思い、このような提案をさせていただきました。</p> <p>あとの詳しいことは、もう一人の委員からお話があると思います。</p>
会 長	<p>そのままつないでお話いただいてよろしいですか。</p>
委 員	<p>最近の農業は、皆さんもご存知のように大変厳しい状況にあります。特にこの地域は米が中心になりますが、米だけでは生活が成り立たないような状況で、他の地域を見ても、消費者の後押しがないとうまくいかない現状があると思います。ただ直売所を作るだけでなく、そこに都市部の人を引き込むような施設にして、農業者だけでなく消費者を巻き込んだふれあいの場を作ればよいと思っていたところ、他の委員と意見が合ったので、このような提案を一緒にしました。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。中身ももちろんですが、このようにお二人で一緒に出していただいたということについて大変うれしく思います。</p> <p>それでは、続いて次の方よろしくをお願いします。</p>
委 員	<p>私は体育協会からということでスポーツに関することを2件出させていただきました。</p> <p>河内町は「スポーツの町」ということを以前から発信してきた長い歴史がありました。今現在の河内地区の位置は、スポーツ少年団のクラブ数と人員ともに人</p>

口当たりの比率が栃木県内のトップにあり、実績や成績も非常に良いという歴史が続いています。せっかく根付いた「スポーツの町」というキャッチフレーズをできれば残していきたいという提案が一つです。

それから総合型スポーツクラブについてですが、一昨日の新聞に市の教育委員会の話として中学校単位で作るべきだと掲載されていました。私は、河内にあるスポーツクラブの準備、発足から見させていただいているのですが、非常に苦勞してここまで築き上げてきた経緯があります。特に人が一番の問題であって、これを分割して3つの中学校に分けると人材が手薄になるだろうと感じています。どのようになるかは別にして、ともかく、みんなができるかぎり手近でスポーツを楽しむという、施設ではなくクラブという受け入れ態勢が必要だと思っています。これからは、クラブの数が相当増えていくと思いますが、現在は、相当の人数の子供たちが宇都宮市の「友遊いずみクラブ」に流れてしまっています。これは、河内地区の受け入れ態勢ができていないからだと思います。

会 長

ありがとうございます。それでは、次の方よろしくお願いします。

委 員

今年の体育祭はどうして古里中学校だったのかと聞かれることが多かったのですが、その理由が分からなかった人が多かった様に思います。これからずっとそのままなのか、また運動公園に戻るのか分かりませんが、場所が変わったことについて地域住民にはっきりと説明するべきだったと思います。また、体育祭でも使わない運動公園は飾り物ではないかという皮肉めいた声も聞こえました。

また、先ほども話がありましたが、運動公園の周りが乱れています。たとえば使わない場所であったとしても、雑草が伸びていたり樹木の選定がされていなかったり、見苦しい状況になっていると感じます。また、最近何度か運動公園に遊びに行きましたが、トイレの水が出ませんでしたので、確認してください。

そして自治センターの窓口についてですが、私は、もともと河内町役場の窓口は親切丁寧だと感じていたのですが、他の人から、とても窓口の方が懇切丁寧に説明していただいたので、以前は役場の窓口が嫌な感じがしていたけど今度は違うよと言っていた方がいました。

それから、本当に一部の方とは思いますが、何らかの事情で字が読めないという方がいまして、行政の専門用語が多くて分からないし、自治センターにたまにしか来ない人にとっては警察に呼ばれたようでドキドキしてしまうそうです。どこへ行ってよいか分からないし、何を取ってよいか分からないし、ドキドキしているところで字が読めないから、ますます困っちゃうということがあるそうです。やはり、どんな方が見ても分かるような分かりやすい案内板などがあれば良いと私は思います。

会 長

ありがとうございました。それでは、次の方よろしくお願いします。

委員	<p>私は、女性の会という団体で年に2～3回美化クリーン作戦という活動しています。ふれあい遊歩道を清掃していて気づいたことですが、樹木が伸びたままになっていますので、散歩する方も多いので、手入れしたほうが良いと思いました。</p> <p>また、散歩している方たちは、空き缶などをその場に置いていってしまうのか、両端にペットボトルなどがたくさん捨ててあるのです。ところどころにゴミ箱を設置していただければ、意識的にそこに入れていただけるのではないのでしょうか。そのようなものが備えてあれば、個人に捨てる意識ができてきて、街の中全体でゴミが出なくなってくるのではないかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、次の方よろしくお願いします。</p>
委員	<p>私は文化協会の役員から話を伺って書きました。地域情報誌については1か月おきでは役に立たないので、できれば1週間おきにインターネットで情報を提供してもらいたいということでした。毎月発行するのは大変ですが、発行する人を多くして、交代で試みてはどうかと思います。また、大きさも今の半分でもいいですから毎月出していただくと良いと思っています。</p> <p>また、河内地区には中心となる場所がなく、街並みがないので、駅から白沢まで街並みができないかという意見がありましたが、これはなかなか難しいとも思います。ただ、駅西では区画整理が着々と進んでいるのですが、あの地域がどのような街並みになるのか、街路樹はどうなるか、街路灯はどうなるか、電線を地中化するのかなどの細かいところが見えていません。私が自治会長だった頃に事務所に話を聞きに行ったところ、それは住民との話し合いの中でこれから決めていきたいということでしたが、全然そのような話がされていないようです。できれば、そういう細かいところも住民の要望を取り入れていただいて、皆さんで話し合っていけば、もう少しスムーズに進むのではないかと思います。</p> <p>次に、花いっぱい運動をプランターでよくやっていますが、プランターは管理が大変で、はじめはきれいで良いのですが、あとは草も生えて枯れたものが道路の脇にそのままになってしまいます。できれば各地域に一坪でも花壇を作り、そこをみんなで管理して花を咲かせれば、地域の子供たちも一緒に参加できるのではないかと考えています。</p> <p>それから、もうひとつですが、先日、宇都宮大学の先生のまちづくりについての話を聞き、その中で益子町や水車の町の事例がありましたが、行政の意識改革がその基になっているのではないかと感じました。水車の町の話では、最初に地域の若者に毎日お酒を飲ませたということでしたが、そこまでやっていいか、そこまで割り切ることができるかということも含めて考えてほしいと思います。</p> <p>また、先日の文化祭の反省として、例年文化祭は11月3日を中心に開催していましたが、今年は18日に遅れたことがありました。これは体育館の予約が4月の時点で他の団体に先を越されてしまったためでしたが、これは、この日は毎年文化祭だけれど今年はどうなのとひと言あれば、行政内部の横のつながりがあ</p>

	<p>れば、3日に可能ではなかったのかと思いますので、このようなことを行政でも考えていただきたいと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。それでは、次の方よろしくお願いします。</p>
委 員	<p>私たちは、独居高齢者との交流会を長年やっていて、そこでいつも感じていることですが、家の中のことは何とかできても、家から一歩外へ出るための足が一番大変だという声をよく耳にします。ただ、有償ボランティアも事故が起きた場合どうするかということが問題になって、いつも話が立ち消えになってしまいます。これから5年10年経ち高齢化が進むと、足の確保が一番大事ではないかと感じています。</p> <p>また、敬老会も長年お手伝いして感じていますが、この形式的な式典が本当に必要なのかと思っています。2時間以上も体育館に座っているのは苦痛だと思いますし、いらっしゃる方は元気な方ですので、見たり聞いたりするだけでなく、自分たちも参加して楽しくされた方が良いのではないかと感じています。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。それでは、次の方よろしくお願いします。</p>
委 員	<p>一つは、道路整備ということで、最近痛切に感じているのですが、河内地区から宮環に通じる道が非常に渋滞しています。私も車で通勤していますが、ひどいときには20分も待たないと環状線に出られないこともあります。旧河内町と宇都宮市とがつながったところの整備をどちらの方でやるかという問題がありましたが、社会人だけでなく学生も危険なので、早急に対策をとらないといけないと思います。</p> <p>また、ホンダやキャノンなどは、企業として宇都宮駅や岡本駅にバスを出して送り迎えをしています。難しいかもしれませんが、同じように河内地区としてバスを市内に向けて走らせて、地域の住民を送り込むということはどうでしょうか。あるいは、大型車両の専用道路を設けたり、海外で行われているように車のナンバーの奇数偶数を曜日で乗り入れ規制をしたりするなど、そのようなことを全国に先駆けて行っていると河内地区からPRしてはどうかと思い提案しました。</p> <p>もう一つは、工業団地の整備ということですが、これは河内の良いところを伸ばすということに相反することになるかもしれません。河内には白沢工業団地というものがありますが、河内地区は工業というイメージが伝わってきません。河内地区の住民のほとんどは宇都宮の方へ通っているのが現状ですので、だんだん河内地区の人口が減ってくるのではないかと心配です。河内地区には土地がありますので、税の優遇などで企業を誘致してはどうかと思いました。もちろん誘致するには街の整備も必要ですので、岡本駅前の活性化も重要で、そのことについても早急に対策を取らなければいけないと思い、これらの2点を提案させていただきました。</p>

会 長	ありがとうございました。それでは、次の方よろしくお願いします。
委 員	<p>今までに取り上げられていないことだと思いますが、教育についての位置づけということを提案させていただきます。今まで教育に携わってきた者として、このようなことが課題になっていると委員の皆さんに知っておいていただくだけでも違うのではないかと感じています。この会議でスポーツや文化などの生涯教育については議論がされてきましたが、その基礎と思われることについての議論が少ないのではないかと感じています。まちづくりは人づくりであると旧町の歴代町長も宇都宮市長も言っていますので、そのことも踏まえて、良いまちづくりのための良い人づくりについて、住民みんなで関心を持つことが必要であると思います。しかし、それが今まで会議の議論の中心にならなかったのは、教育は教育委員会という独立機関の所管であることからではないのでしょうか。今の教育現場は、合併後にどんな課題を抱えているかということが掴めていないのではないかと、それをこの会議で議論したときに、どのようにして教育委員会へつなぐことができるのか、そのようなことを疑問に思いましたので、これからの自治会議で社会教育や学校教育、家庭教育についても議題にしてはどうかと提案しました。</p> <p>私は、現場の学校を巡って雑談の形で聞き取りをしてきました。市の教育委員会は明確な方針で、手厚い配慮をさせていただいていまして、各学校ともさすが50万都市だと喜んでいましたが、反面、いままで旧河内町では小学校6校、中学校3校でしたので、合併して小中学校が93校にもなり、学校間の連携が非常に難しくなって、困ったことをなかなか伝えられなくなったということが共通の悩みだということでした。特に事務システムが変わったために1学期は大変苦労したそうです。これは自治センターも同様だったと思いますが、これは今は慣れて心配なくなったそうです。</p> <p>それから、旧河内町では国際化への配慮に力を入れて、6小学校で1名、3中学校で1名のALTを雇っていました。今度は宇都宮市93校ですので、割合的に少なくなって、小学校は年に3～4回しかALTの授業を受けられず、1年生は年に1～2回しか生の英語を聞けないのではないかと思います。英語を総合学習の中で位置づけようという動きがあるときに、宇都宮市としても先駆的に考えていくとは思いますが、そのような実情があります。また、中学生の海外派遣は、昨年は3中学校から18名が行きましたが、今年は全宇都宮になりますので、おそらく河内地区の3中学校ともいないのではないかと聞き、このままでは大きな夢がしぼんでしまうのではないかと心配しています。来年も制度が同じであれば、姉妹都市交流に積極的に応募するようにバックアップしていく必要があると感じています。</p> <p>このように具体的に理解してあげるだけで、現場の先生はほっとするのではないのでしょうか。というのも、今の新聞紙上で、教職員の不祥事ばかり大きく出ていますが、これはほんの一部で、他の先生方は本当に一生懸命やられています。新聞によって住民の不審が広がっては困りますので、このような実態を知らしめ、</p>



活躍しやすいような教育条件を作るような提案をしていけたら良いと思います。

そのためにも、自治会議の進め方としては、小委員会を作り、そこに担当者を派遣していただいて、現場の悩みを聞いていただきたいと思います。そうしないと現場の先生が困っていることが肌で感じていただけないと思います。

先生や保護者が市に慣れるまで、あと4～5年かかってしまうのではないのでしょうか。保護者からも市バスの利用が制限されてしまったとの声を聞きます。今までは、遠足や社会科見学に行くときも借りられたのですが、今度はできないので、保護者からバス代を集めなければならなくなったそうです。合併して変わったのだから当然なのだと話しているのですが、その反面、何とかならないかという気持ちもあります。

以上、教育について私なりの考えを提案させていただきました。

それから、資料の中に合併後の住民意識調査というものが他の委員から提案されていますが、これは貴重なご意見ですので、私もこれに賛同したいと思います。

会 長

ありがとうございました。それでは、次の方よろしくお願いします。

委 員

一つは、情報公開を進めてほしいと思っています。合併したあとに様々な不満や不安を抱いている人がいると聞いていますが、これをなるべく解消させてあげるほうが良いのではないかと思いますので、センターの組織やサービス内容、いろいろなボランティア活動や各種団体の活動を公開して、関心を持ってもらうことが意識向上につながるのではないかと思いますので、地域のホームページの開設を提案しました。

次に、居住地域の発展と自然環境の共有についてということですが、河内地区は県全体から見ても中心に位置しており、どこに行くにも1時間くらいでいけるような場所にあります。市全体からの位置づけにもなりますが、ここの地域はどういう役割があるのかと考えますと、居住区域としての開発が挙げられると思います。河内は、自然を大切にしてきた地域ですから、当然それを保有していかなければならないですが、その中でも未開発のところも結構ありますので、ある程度そういう地域を居住地域として開発すれば、市のまちづくり全体としての理想的なことを補っていけるのではないかと思います。

そのためには、交通の便も良くしていかなければいけないですし、少子化とかにも対処して住みやすくしていけば人口が増えていくでしょうし、そうして地域の活性化を図っていけば良いのではないのでしょうか。

ひとつは、以前の会議でも出ましたが、東西の道路網の整備が重要な位置づけになると思います。極端に言えば、宇都宮インターあたりから岡本までの東西道路があれば、どこへ行くにももう少しスムーズに行けるようになると思います。

次の農村交流施設は、先ほども提案がありましたが、私も地域の活性化につなげるために、農村地域との交流が必要だと思います。当然、ふれあいの場を設ければ、先ほど提案がありました憩いの場となり活性化につながると思います。

	<p>それから、歴史的な文化財の保護についてですが、河内地区には白澤宿がありますし、自治会でも屋台とか、祭りのものとか、歴史的なものを保存していると聞いています。また、少人数で活動している団体もありますが、そういうものを残していかなければいけないと思いますので、それらを保存保管する施設や展示館の整備が必要だと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。それでは、次の方よろしくお願ひします。</p>
委 員	<p>私は、農村地の多面性を利用できないかということを一枚にまとめてみました。子供たちにとって自然というものは遊びの場であるとともに、すばらしい学びの場にもなります。そういうところが分散していますので、それらをまとめて利用できるようにすれば良いのではないかと思います。また、大人にとっても生活や仕事の疲れやストレスを癒せる場所にもなります。特に白澤のグリーンパークでは、パークゴルフやテニス、ジョギングなどできますが、木が少なく夏は暑いので、植樹するなど、コースを整備するのが良いのではないかと思います。</p> <p>また、都市部の子供や大人を呼ぶためには、キャンプ場のような人を呼び込む施設を作ることも必要だと思います。他県でも、例えば岩手県の旧大東町では、農業体験に相当数の子供や大人を呼び込んでいますし、新潟県の旧安塚町でも農村民宿に年間に900人も来ていると聞いています。私は大東町に行って泊まって農村のお母さん方が作った料理を食べてきました。また、草もちなどを農村のお婆さん方が作ってお土産として売っていますが、これを町全体で取り組んでいますので、億単位の収入を得ていると聞いています。</p> <p>河内地区は、せっかく自然に恵まれたいいところなのですが、それだけでは人は来ないのではないのでしょうか。私も孫を連れて歩くのですが、あまり面白いという実感が持てません。例えば、キャンプ場に2～3日泊まって、1日目は川遊びや釣りをして、次の日は食品加工の体験を、また次の日は農業体験をするなどができるように、これらの地域の資源をうまく連携させてみると十分に活用できるのではないのでしょうか。サイクリングロードについても、貸し自転車をキャンプ場に置いて、そこから地域を廻って、2～3日滞在してもらいながら、汗をかいたり、合宿したりするようなものがないものかと考えました。</p>
会 長	<p>どうもありがとうございました。今日ご出席の方には、ひと通りお話をいただきました。ここで、5分ほど休憩を取らせていただきますので、よろしくお願ひします。</p>
<p>～ 5分間休憩～</p>	
会 長	<p>それでは、後半は本論ということでよろしくお願ひします。 私もお話を聞いていまして、お一人2～3分では、とても表現しきれない中身</p>

の詰まった貴重なご指摘が出てきたと思います。

今日は何かを決めるということではありませんので、今後、自治会議でどのような話をしていこうか、どういう方向に行こうかという話を自由にしていただきたいと思います。ただ、議論をしていただく前に、手続きであるとか、意見の取りまとめの位置づけなどについて、事務局の考えがあるので、事務局から簡単に説明してください。

事務局

事務局から今後のことについて申し上げます。

これまでは、諮問を受けて個別の事案についてご協議いただいたわけですが、これからは、皆さんのご意見を皆さんでまとめ上げていくということで、自治会議の大きな柱である、まちづくりに関する施策について提案するという議論になります。今回、委員の皆さまから貴重なご意見をいただいたのですが、大きなテーマから特定の課題までありました。これからはつきましては、今回いただいたご意見を参考にしまして、個別の事案についてではなく、もう一步大きな視点で捉えていただいて、より良いまちづくりを皆さんが主体的に進めていくためにはどうすればよいかということについて、例えばこのような取り組みや仕組みが必要だというような大きな視点で、事業ではなく施策として捉えた議論を進めていただきたいと思います。

また、施策に取り組む主体についても議論を進めていただきたいと思います。これまでは、行政が一方的に行ってきたことが多いと思いますが、これからは、地域の皆さん、団体や企業、NPOなど、それらの方と行政が協働しながら取り組んでいくという方向がありますので、それぞれの役割を考えていただきながら議論を進めていただきたいと思います。地域でできることは何なのか、行政と協働して進めること何なのか、一方、行政にお願いすることは何なのか、ということについてご議論いただきたいと思います。

検討する期間につきましては、期限は決められていませんが、できれば皆様の任期が満了します21年3月を目途に、じっくりと時間をかけて意見をまとめていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

それから、皆さまのお手元にお渡しした参考資料ですが、宝塚市の仁川地区で作られました、まちづくり計画というものです。これは自治会議の様な組織が作ったのではなく、本市で言うまちづくり組織が作りあげたものになります。今回これを参考としてお渡ししたのは、このまちづくり計画は個別の事業だけでなく、大きな視点の基本的な方針を基に施策があり、施策の下に事業がありまして、その中でその役割分担が地域なのか、行政なのかという区別までして作りあげた計画となっていますので、これから皆さまが提案をまとめていくにあたって参考になるのではないかと思ひ、お配りさせていただいたものです。内容につきましては、特に説明いたしません、参考にさせていただければと思ひます。

会 長	<p>提案を再来年の3月までに取りまとめるということですが、自治会議自体が新しい取り組みとなりますので、我々自身が最初から作りあげていくものとなります。その中で、行政にしてほしいという要望も出てくるとは思いますが、皆さんが指摘した事例についても大きく捉えて、自分たちで取り組むし、行政の協力も得て取り組むし、企業やNPOとどうやって協働していくかということについて考えていくこととなります。従来のようにお膳立てされたものに乗るということでなく、会議の進め方も私たちが決めていくこととなります。もちろん、行政も協力してくれると思いますが、我々だけでどうやって運営していこうかということをしつくりと時間をかけて決めていく、今日がスタートとなります。</p> <p>我々の任期は、残り約1年半あります。話し合いはもちろんですが、市の担当の方に話を聞いたり、現地視察をしたり、じっくりと進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。</p> <p>それから、合併市町村基本計画の中にも地域の目標像として、「水と緑に囲まれ、やさしい居住空間にあふれた住みやすい地域」というものがありますが、このような目標像について、私たちも常にイメージを共有することによって、基本計画と合ってきますので、より効果的に議論を進めることができると思います。もちろん提案は私達が決めていくのですが、基本計画とか合併後の宇都宮市像とか、河内地区の姿などの全体を頭に入れながら議論していきたいと考えています。</p> <p>また、先ほど小委員会の設置というご意見もありましたが、私も個人的に非常に必要ではないかと思っております。分科会とか小委員会とか分かりませんが、分野別に分けて、そこで議論を進めていくということもできると思います。皆さんに出していただいた個々のテーマについて、全体を視野に入れながら解き広げていくような形ができれば、皆さんの意見を切り口にして深めていけるのではないのでしょうか。</p> <p>今日は、自由な意見交換ということにしたいと思っておりますので、何かご意見はいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>テーマごとの小委員会ということですが、岡本、白沢、田原と地域によっても差があると思っておりますので、それに加えて地域ごとの小委員会というのはいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>今のご意見についてですが、委員だけが参加するということになりますか。</p>
会 長	<p>そこが自治会議の自治の理念でして、私の理解は、それは皆様方の考え方次第だと思いますので、柔軟にはできると思います。ただ、正式な会議というのではなく、緩やかな組織になると思います。</p>
委 員	<p>地域ごとということですが、この中で地域に分けるということになるのでしょうか。</p>

委員	<p>テーマごと、地域ごとと、それらの複数に入っても良いということであれば、それなりに分かれられるのかと思います。委員以外の方が入るのが良いかどうかは、私は分かりませんが、地域ごとやテーマごとなどに分けて、複数に入っても良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>小委員会ということで小さく分けたほうが、密度の濃い話ができるので、良いと思います。やはり、地域づくりということは、住民だけでなく、行政も一緒に進めていかなければいけないので、分かれたところに行政の方も入っていただいて、共通のテーマを共に話し合っていくことが望ましいと思います。</p>
会長	<p>具体的なことは、今後つめていくとしても、仮に分科会を作った場合に、そのように行政の協力も得られると考えてよいのでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局として加わることは可能だと思いますが、中で意見を述べる立場で加わることは不適切であると考えます。</p>
会長	<p>事務局の立場として会議に時間を割いて協力してくれるということであれば可能ということですね。</p>
事務局	<p>そういう立場であれば可能です。</p>
会長	<p>他にはいかがでしょうか。今日は、自由な意見をいろいろ言っていたきたいと思います。</p>
委員	<p>資料に合併後の意識調査が書かれていますが、これを早急にする必要があると思います。私たちは、一応住民の代表ということで会議に臨んでいますが、私たちがこれから検討しようとしている内容が、必ずしも住民の意見と合っていないこともあると思います。住民の意見を聞き、それを踏まえたくうえで、自治会長さん達にも集まってもらって、私たちと意見を交換するというのをすれば、住民と目的を同じにして検討していけると思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。プロセスの段階でも常にオープンにして、住民の意見をできるだけ吸収しながら進めていこうということですね。</p> <p>また、仮に調査をするということになった場合は、先ほどの事務局の説明からすると、調査を全て事務局にお願いするということにはなりませんので、我々が質問用紙を作って、配付も他の方をお願いしながら、集計のときに事務局の方にもできる範囲でお手伝いいただくというようなことになると思います。提案すると同時に、私たち自身もいろいろなことをやっていくことになるのだと思います。</p>

委員	<p>現在は、文化祭や体育祭、産業祭がありますが、それぞれバラバラに行われています。できれば各団体の年間行事をみんなで話し合っ、いつ頃が良いとか、地域全体でバランスも考えて実施するとか、同じようなものは一緒にするとか、全体的な話し合いの場がほしいと感じています。去年までは、産業祭と文化祭を一緒にやりたいと産業課から言ってきましたので一緒にできましたけど、今年は何の話もなくて、バラバラに行われました。このように不統一な感じがしますので、みんなで話し合えたらよいと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。仮に小委員会や分科会を作る方向になった場合、教育や福祉、産業などの分野に分かれるのではないかと思います。それらを横断的に見る分科会も出てくる可能性があるかと今のご意見を聞いて思いました。そういうことであれば、分科会でご指摘のようなことを検討して、提案して、働きかけるということになるのだと思います。</p>
委員	<p>先ほど出ました住民の意識調査ですが、なるべく早く取り組んだほうが良いと思います。農村地域や商業地域など、地域ごとに特徴がありますので、それぞれの地域の意見が上がってくれば、もっといろいろな問題が出てくると思います。私たちは、いろいろな団体の代表ではありますが、目に見えないところもいっぱいありますので、そういう意味でも細かい意見も取り入れていけるのではないかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。住民に意識を聞くことを早めにということでした。あるいは、私たちも活動を続けて、時間をかけて考えをまとめて、それを問うというやり方もあるかもしれません。</p>
委員	<p>小委員会をどうしようかということになっていますが、これは私も前から思っていたことです。というのは、前回自治会議を行ったのが7月で、今回との間が結構開いていますが、その点について、みんなどうなんだろうかと思っていたところでした。いろいろな会議を増やしたほうが、もっと充実した意見が出ると思っていますので、小グループや小委員会ということも良いと思っていました。</p> <p>ただ、まちづくりをどうしていこうかという最終目標にいくとすれば、小委員会で専門分野的に協議したものを積み上げてまとめたほうが良いのか、それとも一つのテーマに絞って期間をかけて20人で協議して、終わったら次のテーマにするほうが良いのか、どちらの方向が良いのだろうかとは思っています。</p>
会長	<p>あるテーマを皆さんと一緒に検討していくのか、分科会や小委員会を設置して無理の無いペースでやっていくのかということでしたが、いずれにしても、自治会議だけでは、回数的にも課題に対してじっくり議論がしきれないことがあるのではないかとのご意見でした。</p>

委員	事務局に確認したいのですが、自治会議は、年に何回という計画ですのでしょうか、不定期で何回やってもかまわないのでしょうか。
事務局	正式な会議としては、委員の皆さまに報酬をお支払いする関係もあり、今年は年間7回としています。そのほかに小委員会等で協議をするということであれば、それは正式な委員会という位置づけでなく、皆さま自身の勉強の場や協議の場という、任意の場となりますので、報酬は支払われないこととなります。また、来年度につきましても同様の回数になると考えています。
会長	<p>そのあたりについては避けて通れない大切なことですが、現実には、報酬等は出ないということでした。</p> <p>私からも確認したいのですが、先ほど事務局から平成21年3月までにまとめていくという話がありましたが、来年度もまた、諮問に対する答申があるのかと思いますので、この議論を今日のような形で、じっくりと進められるわけではないのですね。</p>
事務局	次回諮問につきましても、3月にされる予定となっています。また、答申につきましても、やはり夏に答申という流れになっていくと思われまます。
会長	<p>ということは、仮に小委員会を設置する場合にも、関連することにはなりますが、自治会議としては7月ぐらいまでは、そのことにエネルギーを使うということが主になるということですね。再来年の3月までは、まったく自由に進められるということではなく、前半は答申を出さなければならないのですね。</p> <p>諮問は、どのような内容が出てくるかは、まだ分からないのでしょうか。</p>
事務局	3月に諮問されるのは、今年と同じ合併市町村基本計画についてとなります。
委員	配布された仁川まちづくり計画という資料を見ていますが、今の河内地区の流れを見てみると、何か雲を掴むような感じがします。例えば、このような資料を配る場合にも、自治センターとしては、単に資料として配っただけなのか、それとも、仁川も初期はこうだったとか、生の声を聞いて参考にしようという考えで配付されたのか分かりません。
事務局	この資料をお渡しした理由は、これから自治会議でどのように進めていくものなのかをイメージを掴んでいただくためにお配りしたものです。先ほども自治会議の役割の4番目の項目にある地域づくりについての施策の提案をしていくということをご説明しましたが、それだけですと一つの言葉だけでご理解いただけないのではないかと思います。そこで、このようなものをお示しすれば、何をどうまとめていけば、こういう一つの計画になるかということがイメージできるの

	<p>ではないかと思いましたので、参考としてお配りしましたものです。これを後でお目通しいただければ、こういうものなのかということがぼんやりと分かるかと思えます。</p>
委員	<p>今日は、各委員から様々な意見が出ましたが、専門的なことから出た意見や地域のことを考えた意見がありました。住民からの意見を聞くことも大切ですが、住民から何について意見を聞くのか決めることが最初ではないでしょうか。老人のことや交通のこと、防犯、教育など、テーマを何種類か決めて、専門の委員が、このことについてはこんなことを聞いてみようとか、そこで何を聞くのか決めないと地域住民からの意見が出てこないのではないのでしょうか。例えば、先ほどの意見にもありましたが、お年寄りの家庭に聞いたときに買い物に行くのも大変、表に出るのも大変だという意見が多数あれば、それに対して私たちは何をしなければいけないのか、具体的に活動できることをいろいろと考えていけないかと思えます。皆さんの意見をこれもあれもと言っていると、いつになってもまとまらないと思えます。まず、委員の意見の中から、これとこれを考えてみましょうとまとめていって、これに関しては、この委員に任せましょうとしたほうが良いのではないかと思えます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次回から小委員会を作るにしても、意見を聞くにしても、じっくりと議論をするということで、こうした議論をいろいろと出させていただく時間を取りたいと思えます。今日は、後半のスタートですので、今日の意見を踏まえて、次回からテーマを絞ったり、皆さんから意見をいただいたりしながら、しばらく意見交換を深めていけたらと思えますし、今日出させていただいた意見も今日の会議で終わりではなく、今後も生きてくると思えます。</p> <p>また、私からお願いになりますが、公共サービスについての質問については、事務局に答えていただけたらと思えますので、皆さんも委員としていろいろなことにアンテナを張っていただいて、次回の会議に備えておいていただきたいと思えます。それは、今日の意見を更に深めていくような提案でもいいですし、まったく別の提案でもいいですし、あるいは、小委員会についてこう考えているとか、住民の意識調査などもすぐにやったほうが良いとか、急ぐ必要は無くテーマを絞って問いかけたほうが良いとか、私も含めて少し勉強させていただいて、次回の会議に臨んでいただくようお願いいたします。</p>
委員	<p>次回の会議は1月か2月になるでしょうが、通常年7回の会議だけで検討するのは無理があると思えます。そうであれば、報酬が出る出ないは別にして、例えば、来月にでも日にちを決めて議論を煮詰めるなどして、間に回数を増やしていかないと難しいと思えます。そのように皆さんの考えを統一できるのであれば、その方が良いのではないかと思えます。</p>



会 長	<p>そのとおりなのですが、具体的なことを決めていくことは、今日の残された時間では難しいと思います。早い分に越したことはないと思いますが、私の考えでは、仮に分科会などを始めるにしても、内容を固めて、来年の4月ぐらいからとして、じっくり取り組んだほうが良いのではないかと考えています。たとえ来月からとしましても、小委員会の内容やメンバーをどうするかということについては、残念ながらこの場で決めることは難しいと思います。</p>
委 員	<p>そうではなく、そのような形で行けるかどうかということを皆さんに確認しておいたほうが良いのではないのでしょうか。</p>
会 長	<p>そうですね。確かに小委員会の設置については、複数の方からご意見がありましたので、私も皆さんの合意のように話をしてしまいました。</p> <p>それでは、小委員会の設置については、前向きに検討していくということによってよろしいのでしょうか。まだ決定ではなく、設置について前向きに検討してみようということについては合意していただけますでしょうか。</p>
委 員	<p>(特に意見なし)</p>
会 長	<p>ありがとうございます。また次回話し合うこととして、小委員会の中身については、皆さんにも案をご用意いただけると一気に進んでいけるのではないかと思います。</p>
委 員	<p>20人では一つのテーマを話し合っても、なかなかまとまりにくいと思います。良くあるケースとしては、分科会に分かれて議論して、それを全体でまとめていくことがあります。その方が内容のあるものになっていくのではないかと思います。私が関係しているところでは、分科会の内容をアンケートで聞いて、自分が入りたい分科会に丸をつけるようにしていますが、参加者それぞれに得意分野というか関心の強さがありますので、それぞれが関心のあること、知識のあることを話し合う方が、内容のある話ができると思います。</p>
会 長	<p>具体的などころまで踏み込んでいただいてありがとうございました。私も先ほど4月からと言いましたが、これは何の根拠もないことです。例えば、仮に1月に皆さんの何人かが集まって、このような分科会があるのではないかと、そこでこんな中身を論じようとか話しあっていただいて、もし皆さんの中で、こんな名称の分科会で、こういう検討内容をという方向が決まりましたら、もしかしたらその場で希望も取れるでしょうから、あくまで仮定ですが、2月に手探りで各分科会をやってみようというスタートする可能性があると思います。ですから、次回の会議で小委員会の名称や役割なども含めて、何人かの方からご提案いただけるとありがたいと思います。</p>

	<p>これは、事前に提案していただければ、次回に資料として配ることはできますね。</p>
事務局	<p>皆さんの意見の集約を次回の会議の前にしたほうが良いのではないかとご意見がありますが、この場でそれを決めていただければ、皆さんがどういう分科会がいいのか、どういうことに興味をお持ちなのか、その集約を事務局でさせていただきます。</p>
会 長	<p>私としては、次回の会議のときに、その場で出されても困りますので、委員の皆さんが事前に事務局に渡していただいて、資料として会議の場で検討してはいかがでしょう。事前に集約ということではなく、会議の場で話し合ったほうが無理がないと思いますがいかがでしょう。</p>
事務局	<p>それでは、次回の会議のときに全員にお考えをお持ちいただいて、ご検討いただくということをお願いいたします。</p>
会 長	<p>全員というのは無理がありますので、なるべく多くの方に提案をお持ちいただければありがたいと思います。なかなか事前に集約ということは難しいでしょうから、まず出していただいて、じっくりと話し合うことが良いのではないのでしょうか。</p>
委 員	<p>資料1として我々の意見をまとめていただいた資料がありますので、これを基にしてはいかがでしょう。次回にまた各々意見を出しても、その場では決まりませんでしょうから、資料を持ち帰って検討してきて、来月にでも案を出して、それをまとめて事務局に次回出していただいたほうがスムーズに決まるのではないのでしょうか。次回の会議のときにどういう委員会を作るかという話をして、その場でスムーズに決まれば良いのですが、またいろいろな話が出てくるかと思えますので、そうすると、またその後を決めるということになってしまいます。それに、次回の会議は別の議題が出るでしょうから、委員会をどうしようかということに時間をかけることはできないと思います。</p>
会 長	<p>会議の議論の中身は、私たちが決められることなので、河内自治会議をどうするかということに時間をかけてよいと考えています。</p> <p>私の言い方が悪かったのですが、できるだけ多くの方に提案を出していただければ、資料となりますし、その場でこうしてこうと決まってしまう可能性があるのではないのでしょうか。私がちょっと予防線を張ったのは、当日直前に持ってきて印刷してほしいということになると混乱してしまいますので、事前にお渡ししてもらったほうが良いという程度の意味です。</p>

委 員	先ほどセンター所長からイメージ作りにしてほしいとしていただいた、まちづくり計画を見ると、進め方として部会と内容が4つに分けて書かれていますので、これも参考になるのではないかと思います。
会 長	ぜひこれを参考にしたいですね。また、これ以外にもあると思いますので、委員自身でも探していただいて、ご紹介していただきたいと思います。
事務局	自治会議の目的は、まちづくりの提案をまとめるというテーマがありますので、できましたら、小委員会を作るという方向がありましたら、事前にご意見をいただいで、早く協議に入っていけるように進めていただけるとありがたいと思いますので、よろしくお願いします。 その具体的な進め方については、会長とこれから調整させていただきたいと思っています。
会 長	それでは、次回は小委員会の中身について議論を進めていきたいと思っていますので、事務局と打ち合わせて、皆さまに事前にご連絡させていただきます。よろしくお願いします。

#### 4 その他

会 長	それでは、その他に移りますが、事務局から何かありますか。
事務局	(「河内地区まちづくり懇談会」について説明) (「みや・未来トーク」について説明)  次回の開催については、1月と3月に開催を予定させていただいておりますので、日程が決まり次第ご連絡させていただきます。
会 長	以上で本日の会議を終了させていただきます。本日も貴重なご意見をありがとうございました。